

映画『灰とダイヤモンド』上映会

姫路市立美術館 日本美術・技術博物館マンガ連携事業
アンジェイ・ワイダ 生誕100年記念企画

©WFDiF / po Studiu Filmowym 'Zebra

アンジェイ・ワイダ

1926年生まれ。ポーランドを代表する世界的映画監督。16歳で反ナチズム抵抗運動に参加。戦後、クラクフ美術大学で絵画を学んだ後、ウッチの国立映画大学に入学、演出を学ぶ。第2次世界大戦の過酷な体験とともに、祖国の歴史、人間の尊厳を描いた。日本美術・技術博物館マンガ創設者の一人。2016年逝去。

2026.9.22 (Tue) 18:00~

Andrzej Wajda Popiół i diament

会場 / 姫路市立美術館前庭 特設シアター ※雨天時は美術館2階講堂にて開催 入場無料

主催/姫路市立美術館、日本美術・技術博物館マンガ、ポーランド広報文化センター
協力/岩波不動産株式会社、在神戸ポーランド共和国名誉総領事館

 manggha

 ポーランド
広報文化
センター

「ひめじアートシーズン2026」
参加事業

姫路市立美術館
Himeji City Museum of Art



©WFDiF / po Studiu Filmowym 'Zebra



祖国の共産化を食い止めるため反共組織のゲリラ兵である青年マチュクは、労働党書記官暗殺の指令を受けるが、誤って別の男2人を殺してしまう。複雑なポーランド情勢の中で、暗殺者として生きる青年の苦悩、恋、そして凄惨な死をとげるまでを、第2次大戦が終結した1945年5月8日から翌朝までの1日の物語として描く。本作はヴェネチア国際映画祭批評家連盟賞を受賞。

Andrzej Wajda

2026年9月22日(火・祝)

18:00~ プレトーク

講師: 菅原 祥氏

(京都産業大学 現代社会学部 教授)

18:30~『灰とダイヤモンド』上映

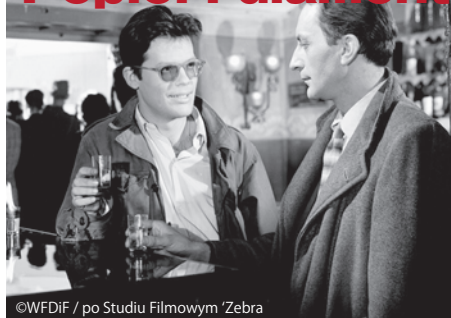
※上映後アフタートークあり

菅原 祥(すがわら・しょう)

社会学者・文学研究者・翻訳者。主にポーランドを研究対象とし、「場所と記憶」という視点でポーランド現代文学の研究・紹介を行っている他、映画をはじめとした社会主義時代の文化・記憶の研究や、団地の文化遺産化に関する研究も行う。



Popiół i diament



©WFDiF / po Studiu Filmowym 'Zebra

17:30からは たそがれバートタイム

映画のおともにおいしいポーランドの
フードやドリンクはいかがですか?

「灰とダイヤモンド」にちなんだスペシャルメニューも
ご用意しております。

[アクセス]

JR・山陽電車姫路駅より神姫バス⑦⑨乗り場から③④⑤⑥⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳乗車約8分、「姫山公園南・国立姫路医療センター・美術館前(北行)」下車すぐ。姫路駅より徒歩約20分(姫路城東隣)。

※上記路線バスのほか、姫路城ループバスも停車します(停留所は「美術館前」)。

※美術館には駐車場がありませんので近隣の駐車場(有料)をご利用ください。

[お問合せ]

姫路市立美術館 〒670-0012 姫路市本町68-25

TEL.079-222-2288 <https://www.city.himeji.lg.jp/art/>

本イベントに関する最新の情報は姫路市立美術館公式ホームページにてご確認ください。

